

科 目 名				学 年
社会科学Ⅱ:Social Science Ⅱ				5ESC
教 員 名		江波 昌子:ENAMI Masako		
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	講義	○
授業概要	我々のいまを取り囲んでいる音楽が、西洋音楽を基礎に成り立っていることを知り、古来の伝統音楽にも触れつつ、日本が西洋音楽をどのような過程で受容してきたかを学ぶ。西洋音楽の歴史の流れを理解し、代表的な作品の一部に接して、音楽という人間の根源的な営みのひとつに対する認識と造詣を深めると同時に、豊かな教養を身につける。			
	到達目標		評価方法	
1 西洋音楽史の流れを理解し、日本が伝統音楽を持ちながら、西洋音楽を受容してきた経緯を理解できる。 2 個々の音楽作品の歴史的な位置づけに関心を持ち、興味を持って鑑賞できる。			① 中間試験(35%), ② 期末試験(35%), ③ 自学自習レポート(30%)で評価する。	
学習・教育目標		F③④	JABEE基準1(2)	(a)
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	オリエンテーション	西洋音楽史のはじまり 古代ギリシア	
	第2	西洋音楽史1	中世	
	第3	西洋音楽史2	ルネサンス	
	第4	西洋音楽史3	バロック 1	
	第5	西洋音楽史4	バロック 2	
	第6	西洋音楽史5	古典派 1	
	第7	西洋音楽史5	古典派 2	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	西洋音楽史7	ロマン主義 1	
	第10	西洋音楽史8	ロマン主義 2	
	第11	西洋音楽史9	20世紀の音楽	
	第12	日本音楽史1	日本音楽史の始まり～能と狂言	
	第13	日本音楽史2	近世・近代	
	第14	日本音楽史3	伝統音楽と西洋音楽の並存の中で	
	第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容		教科書を参考にして作品を1つ選び、それについてレポートする。		
関連科目				
教 科 書		はじめての音楽史(片桐功ほか著 音楽の友社)		
参 考 書				
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員		高橋正和		
備 考				